

令和5年度第1回油化学セミナー

「美容とアンチエイジング」

主催：公益社団法人 日本油化学会関東支部

協賛：公益社団法人 日本化学会、日本化粧品技術者会

日時：令和5年7月26日（水）12：30～17：00

会場：油脂工業会館 9階大会議室（東京都中央区日本橋3-13-11）

開催方式：現地開催（対面のみ 定員60名）

近年、美容・アンチエイジングに対する意識は大きく変化し、年齢や性別を問わずニーズは拡大しています。本セミナーでは、多様な製品やサービス提供の基盤となる最新の研究4題をお届けします。美の追求に体の内外からアプローチする手法にご注目ください。

プログラム（演題および講師）

12：30～12：35 開会の辞

12：35～13：35

講演① サーチューン活性化による美容とアンチエイジング

代謝機能研究所、東京工科大学、藤田医科大学 今井 伸二郎 氏

食品由来サーチューン活性促進成分は、皮膚の創傷治癒、瘢痕化、皮膚の光老化の抑制などに関与している。これら成分の効果について、代謝に関する作用及び、美容への影響に重点を置き解説する。

13：35～14：35

講演② ファインファイバー技術の開発と化粧品への応用展開

花王株式会社 東城 武彦 氏

化粧品にて商品化したファインファイバー技術について、社会実装における技術開発ポイントと、極細繊維だから実現できる特性、そして化粧品として新たに見出された価値を最新動向も交えて解説する。

14：35～14：50

休憩

14：50～15：50

講演③ リポソーム化粧品はなぜ高いスキンケア効果を有するのか

—ラメラ構造に着目した肌効果メカニズムについて—

株式会社コーセー 黒木 純子 氏

化粧品は有効成分に加え、製剤（基剤）のバリエーションが幅広く、高い肌効果を有する製剤開発が可能である。本講演では、リポソーム製剤が、どのような機構で高いスキンケア効果を発揮しているのか概説する。

15:50~16:50

講演④ 皮膚老化と抗老化ビタミンの働き

武蔵野大学薬学部 SSCI 研究所 阿部 皓一 氏

老化は「年をとるにつれて生理機能が衰えること」である。本講演では老化とは何かを述べ、最近の考え方の変化、抗老化ビタミンの働きについて皮膚を中心にまとめる。

16:50~17:00 閉会の辞

17:00~17:20 名刺交換

申込方法：①氏名、②所属、③参加区分（個人会員・法人会員・一般・学生）
を明記の上、E-mail にて下記宛てにお申し込みください。

申込先：株式会社 ADEKA 食品開発研究所 山下 敦史
e-mail: yamashita@adeka.co.jp

申込締切：2023年7月22日（金）
定員60名。定員枠に達した場合は締め切らせていただきます。

参加費

日本油化学会・日本化学会個人会員	6,000円
日本油化学会・日本化学会法人会員	8,000円
日本化粧品技術者会会員	8,000円
一般	10,000円
学生	3,000円

支払い方法：銀行振込 E-mail にて申し込み後、参加費をお振込みください。
なお、送金手数料はご負担ください。

送金先：三菱UFJ銀行 八重通支店・普通口座0703971 公益社団法人日本油化学会関東支部

最新情報は、学会 website にてご確認ください。

<https://jocs.jp/oil-multi/kantosibu/主催セミナー/>

